和歌山県
Wakayama Prefecture

和歌山だより

平成29年（2017）11月号

小田井用水路・龍之渡井（紀の川市、かつらぎ町）

農林水産省が選定する疎水百選にも選ばれている小田井用水路が、このたび、世界かんがい施設遺産に登録されました。写真は、紀の川市西野山とかつらぎ町高田の境を流れる穴伏川に架かる龍之渡井です。龍之渡井は、国の登録有形文化財にも登録されています。

CONTENTS

1. 知事メッセージ・・・・・・・ P1
2. 和歌山県政トピックス・・P2～P12
3. お知らせ・・・・・・・・・・・・ P13～P27
4. ふるさと歳時記・・・・・・・P28～P29

がんばれ和歌山県警

私はテレビの刑事ものが好きで、よく見ています。犯人逮捕に至る推理のプロセスが面白く、なぜ、どうしての論理的思考を鍛えるにはこれが一番だなどと軽口をたたいています。しかし、最近の刑事ものは、どうも警察が組織防衛のために、とんでもない悪行を働くというようなストーリーが多く、こんな警察が本当にあったらえらいことだと恐ろしくなります。しかし、和歌山県警についてはそんなことはないと私は信じています。

和歌山県も残念ながら犯罪とは無縁ではありません。むしろ、昔は鷹揚な県民性からか気の緩みからか人口に比して多い方であったかと思います。度重なって地方公共団体の汚職が発覚したり、カレー事件のようなとんでもない事件が起こったりと、我々は恥ずかしい思いもしました。しかし、最近は、随分と減ってきています。人口当たりの犯罪の認知件数で、２０１７年上半期では１９位と、近畿の中では最下位(下の方が良い)という成績になっています。

一般に各県比較をして警察関係の成績を見る時は、この指標を使うのですが、私は、人口当たりの検挙件数を見るべきだと思います。警察がどのくらい頑張って犯人を挙げたかということだからです。この人口当たり検挙件数は、２０１３年９位、２０１４年１０位、２０１５年４位、２０１６年１５位、２０１７年上半期６位と、かなりの好成績です。私は和歌山県警の警察官がよく頑張ってくれていると評価したいと思います。いろいろな現場でよく見かける警察官も、真面目に、かつ親切に仕事をしてくれているように思いますし、予算折衝や議会答弁の際などに議論する時にお目にかかる警察幹部の人も中々情熱を持って仕事に励んでくれているように思われます。

そういう意味で我々和歌山県民は警察官の皆さんに感謝をしないといけないと思います。そういう警察ですが、世はハイテク時代、装備が貧弱だと警察が悪に負けてしまいます。そう考えて、私はずっと警察の装備の充実には力を入れているつもりです。

和歌山県警察の今後一層の頑張りに期待します。

和歌山県知事　仁　坂　吉　伸

10/11 知事室にて

今月の和歌山県政トピックス

●台風第２１号に伴う被害と復旧状況について

紀美野町奥佐々の被災現場

このたび、本県を襲った台風第２１号により県内で大きな被害がもたらされました。人的被害としては、死者１名、軽傷者３名、住家被害としては、全壊２棟、半壊２棟、その他浸水など、合わせて約２，３００棟に被害がありました。

亡くなられた方の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、御家族や被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

県ではその後、速やかに復旧作業を進め７８か所あった道路の通行止めが残り５か所となっています。かなりの距離になる所もありますが、いずれも迂回路があり集落が孤立するような事態には至っていません。

県道那智勝浦古座川線の被災現場

１名の尊い人命を失う結果となった紀の川市西脇の斜面崩落については、県が工事を行っている広域農道を含め被害がありました。県では、工事に問題があったということなら、然るべき補償を行わないといけないと考えており、直ちに原因を検証するため、県外部の方をメンバーとする調査検討会を１１月２日に開催しました。今後、必要な安全対策についても、調査検討会での議論を踏まえ早急に実施していきます。

また、地すべりなどの大規模な被災は紀美野町ほか５か所あり、専門家による現地調査や伸縮計による観測を実施中で、今後、対策工事を進めます。河川については、被災した１０７か所の内、二次災害の恐れのあった箇所では、翌週の台風第２２号が接近するまでに応急復旧が完了しております。道路、砂防、河川ともに、災害復旧の補助金を受けるための査定を年内に受けられるよう、早期設計を行い、来年早々、本格復旧工事に着手したいと考えています。これにより、平成３０年度末までに復旧工事を概ね完了させたいと考えています。

鉄道については、南海本線男里川橋梁の橋脚が傾いたことにより、樽井駅～尾崎駅間で運休しておりましたが、１１月１日の始発から、上り線を使用した単線運転による運行が開始されています。また、南海高野線上古沢駅構内の地すべりによる高野下駅～極楽橋駅間の運休については、地すべりに関する現地調査が実施されており、県でも、その調査に協力しているところです。なお、現在、橋本駅～高野山駅間でバスの代行輸送が実施されています。

中小企業等に関しては、被災した建物や設備等の復旧に要する経費について補助制度を新設するとともに、事業再建、資金繰り支援のために県融資制度を拡充し、被災された方々

を支援してまいります。農業に関しては、パイプハウス等の復旧について、県の単独補助制度を使っていただくとともに、その他の融資制度等の周知に努めています。

その他、住家被害の多かった新宮市に、延べ９６人の住家被害認定士を派遣し、概ね被害調査が終了しています。

また、災害廃棄物については、同市に県の災害廃棄物処理支援要員を派遣し、近隣自治体の協力を得て、不燃物、可燃物ともに処理を完了する目処が立っています。

なお、和歌山県と日本赤十字社及び和歌山県共同募金会では「和歌山県平成２９年台風第２１号災害義援金」を、平成３０年１月３１日まで募集しております。詳細は県のホームページに掲載しておりますので、ご覧いただければと思います。

引き続き、台風第２１号の被害に対し、様々な形で被災者の支援、救済に努めてまいります。

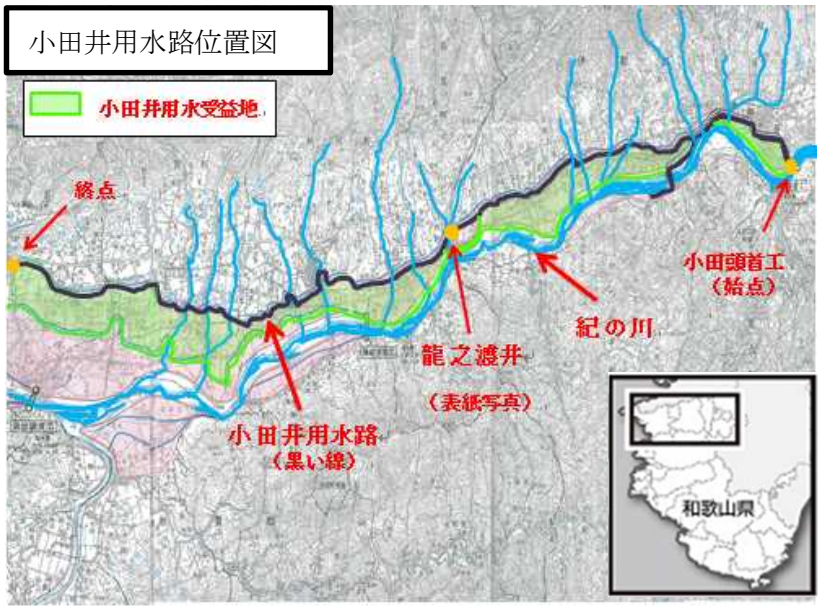
●「小田井（おだい）用水路」が世界かんがい施設遺産に登録されました

宝永４年（１７０７年）に当時紀州藩主であった徳川吉宗の命を受け、大畑才蔵（おおはたさいぞう）、井沢弥惣兵衛（いざわやそべえ）らによって作られた「小田井用水路」が世界かんがい施設遺産に登録されました。

世界かんがい施設遺産とは、かんがいの歴史、発展を明らかにし、理解を求めるとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会（ＩＣＩＤ）が認定・登録する制度です。建設から１００年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設を登録し表彰しています。

今回の登録により、県内では初登録、日本国内では３１か所が選ばれたことになります。

現在、小田井土地改良区が所有し管理するこの施設は、橋本市から岩出市までに及ぶ紀の川右岸の河岸段丘の水田へかんがいを行う施設で、用水路の延長が３２．５ｋｍ、かんがい面積が約１，０００ｈａとなる紀の川北筋の農地を潤す大動脈となっています。



紀州藩主であった徳川吉宗は、紀の川北側の米の収穫量が少ないのは、水が不足しているからだと思い至り、藩財政窮迫の打開策として、新田開発に伴う用水確保に着手します。

このとき依頼を受けたのが井沢弥惣兵衛でした。また、井沢は、計算が得意な大畑才蔵を指名し工事にあたりました。

このとき大畑才蔵は、作業にあたり一定間隔に杭を打ち、人夫の割り当てを決め一斉に掘り進めるなど効率の良い方法を生み出し、さらに、「水盛台」という現在の測定精度と遜色のない水準器を考案し、後に治水の神様と称されます。

また、紀北地区の河川段丘には中小河川の谷間が多く、水路をその谷間に通すために、川床をくぐらせて通水する「伏越（ふせこし：（サイフォン））や川の上を通す「渡井（とい：通水橋）」という当時最先端の工法を導入しており、中でも全長３０ｍに及ぶ木製橋「龍之渡井（たつのとい）」は当時の最高技術を駆使し造成されました。

その後、井沢弥惣兵衛は、この功績により８代将軍となった吉宗に認められ、幕府の役人となり、利根川と荒川を結ぶ見沼代用水路など関東平野のかんがい工事を手がけます。このとき、小田井用水路で施工された、堅固な堤防を築造して河川の蛇行を直線化し、洪水を防ぐ「紀州流工法」を採用しています。この工法は、後に全国の新田開発で活躍します。

日本の利水の礎となったと言える小田井用水路が世界的な遺産として認定されたこの機会に、大畑才蔵の功績や随所に凝らした工夫の跡を辿ってみてはいかがでしょうか。

●知事が「和歌山県人ブラジル移住１００周年記念式典」に出席

知事は、ブラジルのサンパウロで行われた和歌山県人ブラジル移住１００周年記念式典に出席し、先人の功績・遺徳を顕彰するため、１０月２７日（金）～１１月３日（金・祝）の日程で、ブラジル・アルゼンチンを訪れました。

今回のブラジル・アルゼンチン訪問には、仁坂知事、尾﨑太郎県議会議長ほか県議会議員８名、県国際交流協会、県中南米交流協会、わかやま南北アメリカ協会等から総勢３４名が参加しました。

和歌山県人ブラジル移住１００周年記念式典・祝賀会

知事は、ブラジル和歌山県人会（谷口ジョゼ眞一郎代表）が主催する記念式典及び祝賀会に（２９日：現地時間）出席し、サンパウロ市周辺を中心にブラジル全土から集まった本県出身者とその子弟の方々、約４８０名から手厚い歓迎を受けました。

１００周年記念式典の様子

式典で知事は、８０歳以上の高齢者９６名に長寿者表彰を行ったほか、本県からのブラジル移民のために尽力した方々を顕彰するとともに、本県出身者を激励しました。

また、日本とブラジル両国の友好親善に貢献したとして、仁坂知事と尾﨑議長に対し、

ブラジル連邦議会から功労賞が贈られました。
式典に続いて開かれた祝賀会では、訪問者により大正琴が演奏され、郷愁を誘う音色に、本県出身者の方々は耳を傾けていました。

表彰受賞者の方と

この式典・祝賀会は、本県出身者を父に持つ羽藤ジョオジ・サンパウロ州議会副議長の尽力により、サンパウロ州議会議事堂で開催されました。

式典には、ブラジル連邦議会議員や市会議員をはじめ多くの団体関係者が出席しており、ブラジル和歌山県人会の長年の社会貢献が、現地で広く認知されていることを強く感じました。

祝賀会の様子

ブラジル日本移民開拓先没者慰霊碑参拝

続いて訪問団は、サンパウロ市内のイビラプエラ公園内にある日本移民開拓先没者慰霊碑を参拝し、ブラジル各地で亡くなられた開拓先没者の方々に対し敬意を表し、冥福を祈りました。

この慰霊碑は、ブラジル各地において志半ばで亡くなった日本人移住者の霊を祀るために１９７５年に建立されています。過去にサンパウロを訪問した天皇・皇后両陛下をはじめとする皇族や歴代総理大臣など政府要人が参拝しており、日本人移民の心の拠り所となっています。

先没者慰霊碑での参拝の様子

ジャパンハウス訪問

次に、日本政府事業として今年の５月に開館した日本に関する様々な情報がまとめて手に入る施設「ジャパンハウスサンパウロ」を訪問し、館内を視察しました。今回の訪問を契機に、同館では紀州てまりや漆器、和紙などの和歌山県産品を展示いただいています。

サントス日本人会館訪問

３０日に、訪問団は、数多くの日本人移民が上陸し、ブラジルでの新たな生活の第一歩を踏み出した地、サントスにあるサントス日本人会館を訪問しました。

サントス日本人会館にて

サントス日本人会は、第二次世界大戦中の強制退去処分や戦後の土地・建物強制接収処分などの大変苦しい時代を乗り越え、現在では、家族慰安運動会、敬老会等の活動や日本語学校の運営を通じて日本とブラジルの架け橋となっています。

また、サントス市内にあるモンテセハーの丘や日本移民ブラジル上陸記念碑も訪れ、この地からブラジル全土に広がっていった日本人移民の当時の様子について説明を受け、参加者は、先人の苦労に思いを馳せました。

今月の和歌山県政トピックス

在アルゼンチン和歌山県人会主催歓迎会

３１日に、訪問団は、在アルゼンチン和歌山県人会（里信ビビアン会長）主催の歓迎会に出席し、約４０名の県人会の方々と交流を図りました。

式典で知事は、８０歳以上の高齢者の方々に長寿者表彰を行いました。

ブエノスアイレス日亜学院訪問

南米滞在最終日の１１月１日、訪問団は、日亜文化を継承する人材の育成を目的として運営されているブエノスアイレス日亜学院を訪問しました。校内や授業を見学するとともに、複数言語による教育についての意見交換を行いました。

生徒の皆さんと

ブエノスアイレス日本庭園訪問

続いて訪問団は、桜や椿といった日本の植物と南米原産の巨木が共生し、ブエノスアイレス市民の憩いの場として親しまれている日本庭園を訪問しました。園内の文化会館では、今回の訪問を契機に観光ポスターが飾られるなど和歌山県の紹介がなされ、日本に興味を持つブエノスアイレス市民から好評を得ているとのことでした。

●紀伊半島がロンリープラネットの「世界で訪れるべき地域」第５位に選ばれました

世界的旅行ガイドブックである「ロンリープラネット」が選ぶ、２０１８年に訪れるべき世界の１０地域のランキングにおいて、紀伊半島が第５位にランクインしました。

なお、日本からのランクインは、紀伊半島だけです。

ロンリープラネット社は、オーストラリアにある世界最大の旅行出版社で、同社が発行するガイドブックは世界で３割のシェアを占めています。毎年「世界で訪れるべき国・地域・都市など」を選んで発表しており、紀伊半島が世界中の旅行者に読まれる「Ｂｅｓｔ　ｉｎ　Ｔｒａｖｅｌ　２０１８」や同社のホームページに掲載され、和歌山の魅力が世界に発信されることになります。

Ｂｅｓｔ ｉｎ Ｔｒａｖｅｌ ２０１８

那智の滝と三重の塔

なお、今回の評価のポイントは、高野山や熊野三山をはじめ、自然景観、温泉、伝統文化といった都市部にはない和歌山県の観光地としての魅力が評価につながったとされています。県ではこれまで、世界遺産をはじめとする和歌山ならではの魅力を幅広くプロモーションしてきたところであり、世界最大の旅行出版社にその魅力が認められたことは大変光栄なこと

です。このたびの決定を契機に、今まで以上に多くの観光客の皆さんに和歌山を訪れていただけるよう、より一層、プロモーションや受入体制の整備に努めていきます。

●女性活躍企業同盟の発足式を行いました

発足式の様子

県では、県内企業等において、女性が仕事と育児を両立し、職場で継続して活躍できる環境づくりを推進する気運を盛り上げるための取組を進めています。

１０月２４日、この女性活躍推進の呼びかけに応えた企業、団体等関係者、約４５０名の出席のもと、「女性活躍企業同盟発足式・記念講演」を開催しました。

「女性活躍企業同盟」とは、女性が継続して働き活躍できる職場環境の整備や、女性がその能力を十分に発揮できる取組をしている各企業・団体に「働く女性の活躍を応援する企業」であることを宣言してもらい結成した同盟です。県では７月から県内に事業所や支店を置く企業や団体に参加を呼びかけ、このたび１３３企業・団体に参加いただきました。

発足式では、一番乗りで参加申し込みをされた相互タクシー株式会社（和歌山市）の田畑孝芳社長に知事から参加証明書が授与されました。

また、参加企業・団体の中で、取組が顕著な太洋工業株式会社（和歌山市）や白浜医療福祉財団白浜はまゆう病院（白浜町）など８企業・団体の幹事就任が承認され、活動内容の企画立案などの役割を担っていただくこととなりました。今後、優れた取組を進めている企業の表彰をはじめ、意見交換会やセミナーを開催し、働く女性が活躍できる気運の醸成を図ります。

続いて、株式会社岩本食品（みなべ町）の岩本恵子専務が同盟を代表し「男女ともに公正な採用・登用・育成に取り組み、特に女性が活き活きと活躍できるよう、働きやすい職場環境の整備、風土づくりに取り組む」と宣言しました。

第２部として行われた記念講演会では、前消費者庁長官の板東久美子氏から「働く女性の活躍　待ったなし～活躍推進で変わる企業・社会」と題した講演がありました。板東氏は、かつて文部科学省に勤めていた際、秋田県副知事に就任することになったが、仕事と家庭の両立によりマネジメント能力を高めることができたと話しました。また、人材の多様性がイノベーションをもたらすことから、経営者や管理職は経営戦略として女性の活躍支援を推進するべきだと話しました。

板東久美子氏による講演の様子

今月の和歌山県政トピックス

県では、職場から女性の活躍を阻害するものをなくすためには社会の仕組みを変える必要があると考えています。今後、宣言いただいた企業・団体の皆さんが活躍を続けることで、そのルールが和歌山に定着し、県全体に女性が活躍しやすい環境が広がることを目指しています。

●近畿大学、京都産業大学と就職支援協定を締結しました

県では、県外の大学に進学した学生のＵターン就職や、県外出身者学生のＩターン就職を促進するため、平成２８年度から県外の大学と就職支援に関する協定を締結しています。

このたび、１０月１１日に近畿大学と、１０月１８日に京都産業大学との間で就職支援協定を締結しました。

これにより相互の連携、協力を行い、学生の和歌山県内企業への就職活動を支援していきます。なお、本県と就職支援協定を締結した大学は、このたびの２大学との締結を加え９大学となります。

学生の皆さんが就職を考える際に、できるだけ正確で詳細な和歌山県の情報が耳に届くように、また、大学で行われる就職ガイダンスや企業説明会の際に、和歌山県の情報をどんどん学生に出してもらえるよう働きかけていきます。

学生の皆さんに、正しい情報を得たうえで卒業後の進路を選んでいただければ、県内企業への就職を選択する人も増え、和歌山県の人材確保にもつながると考えます。

近畿大学塩﨑学長と

京都産業大学大城学長と

●国際・第３８回全日本マスターズ陸上競技選手権大会が開催されました

生涯スポーツの祭典「国際・第３８回全日本マスターズ陸上競技選手権大会」が１０月２７日～２９日の日程で、紀三井寺公園陸上競技場で開催されました。（※２９日は台風のため中止）

マスターズ陸上は、中高年の健康維持や増進を目的として行われ、誰でも挑戦したい種目に出場できます。また、各種目が５歳刻みでクラス分けされているので、ほぼ同年代で競い合える陸上競技大会です。

男子２９種目、女子２７種目が行われ、１８歳～１００歳、合計２，２６３名がエント

短距離走の様子

リーしました。また、今回は大会名称に「国際」と付けられ、アメリカ、台湾など８つの国と地域から３６名の選手もエントリーしました。

マスターズ陸上は、１９８０年、第１回大会が和歌山で開催されており、県内での開催は今回で４度目となります。そのことからも、和歌山は「マスターズ陸上発祥の地」と呼ばれています。

また、大会開催前の２６日には和歌山市内で、メキシコオリンピックマラソン銀メダリストの君原健二氏、ハンマー投げでオリンピック４大会連続出場、日本選手権１０連覇を果たした室伏重信氏、ロサンゼルスオリンピックマラソン代表の増田明美氏らを迎えたシンポジウムが開催され、開幕ムードを盛り上げていました。

なお、和歌山県在住の鴻池清司氏（日本マスターズ陸上競技連合会長）は、「立ち５段」で日本記録を更新されました。

今大会で盛り上がりを見せる「生涯スポーツ」の気運を、平成３１年の「ねんりんピック紀の国わかやま２０１９」、平成３３年の「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西」へとつなげて行きたいと思います。

●わかやまリレーマラソン～パンダＲＵＮ～が開催されました

１０月２１日、田辺スポーツパークにおいて、県内初のリレーマラソン大会「パンダＲＵＮ」を開催しました。

この大会は、県民の皆さんに運動するのは楽しいことだと分かっていただこうと、そして、平成３３年に開催される「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西」に、県内から多くの方々に参加していただけるきっかけとなるように実施したものです。

雨天の中疾走する参加者の皆さん

本大会は、１周２．１ｋｍを走る「ファミリー」、２１ｋｍをチーム（４～１０人）で走る「ハーフリレーマラソン」、４２．１９５ｋｍをチームで走る「フルリレーマラソン」の３部門に分かれており、２１７チームと、ファミリーで合計約１，８００人が参加しました。

一方、リレーマラソンの特徴の一つとして行われる仮装ランは、パンダの仮装がドレスコードとなっており、パンダの顔、パンダのＴシャツを着たランナーが走り、いたるところで笑顔がはじけていました。

「パンダＲＵＮ」は、参加者お一人おひとりの走力や年齢にかかわらず、家族や職場の

仲間などで声を掛け合って参加できるスポーツイベントとなっています。このような大会を多く開催することで、県内の生涯スポーツの気運を高めてまいります。

●わかやま健康と食のフェスタ２０１７を開催しました

イベント会場の様子

健康寿命の延伸に関する取組や和歌山のすばらしい食について多くの方々に知ってもらう「わかやま健康と食のフェスタ２０１７」を１０月２９日に開催しました。

このイベントは、健康に関する活動の紹介や自らの健康状態を把握できる体験の場を提供したり、県内の農林畜水産物や郷土食など、和歌山のすばらしい食を実感し、食育・地産地消を推進することで、県民の皆さんの健康意識の高揚を図ることを目的として、昨年度から開催しています。

イベントには、健康推進や食育に携わる企業、団体等に協力をいただいており、今年度は４５の企業・団体がブースを出展しました。

会場内は「健康エリア」、「食エリア」に分かれており、健康エリアでは、骨密度測定などの健康チェックや体力測定などが行える運動体験コーナーが設けられました。食エリアでは、食事バランスガイドのお話や野菜を使った料理のデモンストレーションを行ったり、地場産食材等を使った料理の試食コーナーが設けられました。

当日は、台風の接近による悪天候にもかかわらず、子供から高齢者まで多くの方が参加され、会場は大変賑わいました。

●かき新品種「紀州てまり」を開発！

このたび、県果樹試験場かき・もも研究所は、大玉で甘くておいしい、かきの新品種「紀州てまり」を開発しました。

研究所では、赤みが鮮やかな早生の「早秋（そうしゅう）」と甘みがある「太秋（たいしゅう）」を交配させ、約９年をかけて品質に磨きをかけてきました。なお、県で甘柿の品種を独自に開発するのは初めてのことです。

現在、品種登録を出願中となっており、平成３１年には登録される見込です。その後、本格的な出荷は平成３５年の秋からになる予定です。

県の工芸品の名がつけられた美しい外観を持つ本品種は、一般的な甘柿より大きく、直径約１０センチほどになり、糖度は「富有（ふゆう）」と同程度に高いうえに、果汁が多いのが特長です。また、本県の主要品種である「刀根早生（とねわせ）」や「平核無（ひ

らたねなし）」は収穫後に渋みを除く作業が必要ですが、本品種は甘柿のためその必要がありません。

今後、農家の皆さんに新規の品種として取り入れてもらい、和歌山県の新ブランドとして普及することや、将来的には、このほど解禁となったアメリカへの輸出など、「紀州てまり」への期待が大きく膨らみます。

●県内の小学生等に「ジビエ」「鯨肉」「魚」「みかん」をお届け

県では、地産地消の取組として、平成２４年度から、県内の小学校、特別支援学校に「みかん」、「魚」などの農水産物をお届けし、学校給食や家庭科等の教材に使ってもらっています。

この取組の一環で、１１月からは、県内の小学校や中学校等の学校給食用等に「ジビエ」、「鯨肉」、「魚」、「みかん」をお届けし、子供たちにこれらの食材に親しんでもらいます。

また、これにあわせて、専門家の方と県職員が訪問する出前授業も行っています。

なお、ジビエの提供では、子供たちに近年イノシシやシカが田畑を荒らし、農作物に大きな被害を及ぼしている現状と、そのイノシシやシカを捕獲し、食肉に加工して地域資源として利活用する取組について伝えています。このことが、子供たちが地域の自然環境について理解を深め、命の大切さとともにジビエのおいしさを学ぶ機会になると考えています。

また、鯨肉の提供では、鯨肉を食する文化の理解とふるさとを大切にする心の育成を、魚の提供では、アジを丸ごと一匹食べることで、魚の上手な食べ方の習得を、みかんの提供では、みかんができるまでの苦労や農業の魅力を伝え、県産農水産物への理解を深めることなどを目的に啓発を行っています。

ジビエソーセージ炒め給食

鯨の竜田揚げ給食

「魚の骨を知って楽しくおいしく食べよう！」

このような取組により、子供の頃から、和歌山の食材に親しみ、大人になってもふるさとの味を愉しんでもらいたいと考えています。

●『野菜生活１００有田みかんミックス』が全国で発売中

カゴメ株式会社から、県産有田みかんの果汁を使った『野菜生活１００有田みかんミックス』が、１１月７日から全国で発売されています。

県では、わかやま産ブランドの向上と販路開拓を目的として、大手メーカーに県産品を採用してもらえるよう、さまざまな取組を行っています。今回の取組は、有田みかんの需要拡大に役立つものと大いに期待しています。

全国で発売されていますので、この機会に是非、有田みかんのまろやかでコクのあるおいしさを皆さんに味わっていただきたいと思います。平成３０年１月下旬までの期間限定販売となりますので、お早めにお買い求めください。

商品パッケージ

●平成３０年度新政策と予算編成の方針を策定

平成３０年度施策の基本となる新政策と予算編成の方針を策定しました。
平成３０年度新政策は、平成２９年３月に策定した「『世界とつながる 愛着ある元気な和歌山』～県民みんなが楽しく暮らすために～」をめざす将来像とする新長期総合計画に掲げる新たな施策体系に基づき、５つの分野で構成しています。
平成２９年度にスタートさせた、本県の社会構造を変革させるための仕掛けを着実に軌道に乗せ、めざす将来像への道筋をより確かなものにしていきます。

「世界とつながる 愛着ある元気な和歌山」の実現に向けて
～ 平成 30 年度 新政策と予算編成の方針 ～

Ⅰ 平成 30 年度新政策の基本的な考え方

我が国の経済は、雇用・所得環境が改善している中、今後も緩やかな回復が期待される一方で、人口動態においては東京一極集中の傾向が続いており、人口減少・少子高齢化が大都市と比べて進行している地方を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある。

このような状況を打破し、時代の潮流に適切かつ迅速に対応するため、本年３月、「『世界とつながる 愛着ある元気な和歌山』～県民みんなが楽しく暮らすために～」をめざす将来像とする新たな長期総合計画を策定し、この将来像を実現するための施策体系を、

① ひ と を育む
② しごと を創る
③ いのち を守る
④ くらし やすさを高める
⑤ 地 域 を創る

という５つの柱で構築したところである。

平成 29 年度は、『和歌山の再上昇』に向け、「和歌山県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少の克服と持続可能な和歌山の実現に向けた施策の推進に加え、新たな長期総合計画の策定過程において、長期的かつ幅広い視点で検討してきた様々な施策のうち、緊急性の高い事業として、結婚・子育てや女性の活躍を応援する企業同盟、本県独自の再就職就活サイクル、高齢者人材バンク、健康づくり県民運動、コミュニティスクールなど、多くの県民・企業等を巻き込んで、本県の社会構造を変革させるための大きな仕掛けを数多くスタートさせた。

平成 30 年度は、これらの大きな仕掛けを着実に軌道に乗せ、県民みんなが活躍できる社会を醸成するとともに、未来に向けての本県の成長力を高める新たな施策を展開し、長期総合計画に掲げるめざす将来像への道筋を、より確かなものにしていく。

新たな施策の編成にあたっては、元気な和歌山を創造する基本は「ひと」であるという考えのもと、将来への礎を強固なものとすべく、未来を担う「ひとを育む」取組と、そのくらしの基礎となる「地域を創る」取組に重点を置きつつ、５つの柱の施策が切り離されることなく重層的につながるように創意工夫を凝らし、施策体系全体としての相乗効果を高めていく。

ひとを育む

子育て施策をより一層充実することで、県民みんなが子どもを産み育てやすいと感じ、子どもたちが将来の夢や目標の実現に必要な資質・能力を身につけるとともに、県民みんながそれぞれのライフスタイルに応じて楽しく元気に活躍し、故郷への愛着と誇りをもち続けている和歌山をめざす。

1．未来を拓く子どもを育てる環境づくり

(1)　子どもが心豊かにたくましく育つ環境づくり

① 多子世帯の経済的負担を軽減するため、第３子以降を対象に行っている保育料等の無料化を、一定の所得制限のもと第２子まで拡充 **新規**

② 多子世帯の保育料等無料化を進めてきたことを踏まえ、在宅で育児を行う世帯に対しても経済的支援を実施 **新規**

③ 不妊治療に係る負担を軽減するため、不妊治療費の助成や不妊専門相談により妊娠・出産を支援

④ 妊娠・出産・子育て等に関する相談をワンストップで対応する体制を県内全域で構築するため、市町村による「子育て世代包括支援センター」の設置を促進

⑤ 仕事と子育てを両立できる社会を実現するため、「結婚・子育て応援企業同盟」への参加企業数を増やし、子育て支援の優れた取組を顕彰するとともに、企業交流型による出会いの機会を創出

⑥ 子どもの健やかな成長を促すため、帰宅してもひとりで過ごさざるを得ない子どもたちに食事の提供等を行う民間団体や、公民館等を活用して子どもの居場所づくりを行う市町村を支援

⑦ 地域から学校、学校から地域への互いの要請に応えるため、「きのくにコミュニティスクール」を実施する小・中・高等学校等を拡大

(2)　子どもたち一人一人が志高く未来を創り出す力を育む教育の推進

① 幼児教育全体の質を向上させるため、「幼児期に育てたい具体的な力」を設定するとともに、保育所・幼稚園等と小学校を円滑につなぐ教育の仕組みを構築 **新規**

② 児童生徒の学力向上のため、優れた実践力をもつ教員の授業ノウハウの伝授等により教員の指導力の向上を図るとともに、小・中学校での補充学習を推進

③ 児童生徒がこれからの社会で生きていくために必要な情報活用能力を育成 **新規**

④ ＩＣＴ企業の誘致や県内企業の成長に欠かせない人材を育成・確保するため、県内企業等と協働で中・高校生を対象としたプログラミング教育を実施 **新規**

⑤ 県内企業の海外市場への進出や販路拡大の原動力となるグローバル人材を育成・確保するため、学生の留学費用を企業と協働で助成 **新規**

⑥ 郷土の先人や歴史、文化などへの理解をより一層深めるため、県版ふるさと教科書「わかやま何でも帳」を活用したふるさと教育を推進するとともに、中・高校生を対象に「わかやまふるさと検定」を実施 **新規**

⑦　不登校の解消に向け、不登校に特化した教員研修やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる支援等により、未然防止、早期発見・早期対応、学校復帰までの各段階に応じた取組を総合的に実施

⑧　県立医科大学薬学部の平成 33（2021）年４月開校に向けた取組を推進

2．みんなが活躍できる社会づくり

(1)　誰もが働きやすく、多様な人生を楽しめる社会づくり

①　80 歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化

②　女性が継続して働き活躍できる職場環境を広めていくため、「女性活躍企業同盟」への参加企業や団体を増やし、優れた取組を実践する企業等を顕彰するとともに、加盟企業等による交流会を開催

③　都会で働く人や、結婚・出産等を機に離職した女性、高齢者の再就職を支援するため、２月を再就職の就活強化月間とする「就活サイクル」の地域社会への浸透を図るとともに、合同企業説明会を県内各地で開催

(2)　健康で心豊かにすごせる社会づくり

①　「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、様々な施策について関係機関の役割を明確にしつつ連携を深めて効果的に実施することで、健康づくりを強力に推進 **新規**

②　生涯にわたり健康を維持するため、地域ぐるみで楽しく運動習慣の定着を図る「健康づくり運動ポイント事業」を推進

③　「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催準備や、国内外のナショナルチーム等のキャンプ誘致を実施

④　平成 33（2021）年に開催する「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」「全国高等学校総合文化祭」の開催準備や気運醸成のための取組を実施

しごとを創る

多様でバランスのとれた産業構造を築き上げ、外的経済ショックにもしなやかに適応できる力を備え、各産業が積極的に海外へ進出するとともに、生産性・収益性を高めることで雇用を生みだし、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む新たな人の流れを創りだす和歌山をめざす。

1．県内企業の成長力強化

①　県内企業におけるＩｏＴ等先端技術の導入を促進するため、セミナーの開催や、導入効果の高いシステムを提供できる事業者とのマッチングを支援 **新規**

②　消費者の購買意欲をかき立てる重要な要素であるパッケージデザインの向上を図るため、事業者の意識改革を促し個別相談等の支援につなげるセミナーを開催 **新規**

③ 多くのベンチャー企業を誘致するとともに、新たなベンチャー企業を生む好循環を形成するため、企業誘致にかかる奨励金制度の対象を拡大 **新規**

④ 創業・第二創業を促進するため、志高い創業者を発掘・育成するセミナーの開催や、ベンチャーキャピタル等で構成されるスタートアップ創出支援チームによるきめ細やかな支援を実施

⑤ 豊かな自然や多様な余暇活動が楽しめる環境を生かし、企業の働き方改革と地域の活性化につながる「ワーケーション」を推進

⑥ ＩＣＴ企業の誘致や県内企業の成長に欠かせない人材を育成・確保するため、県内企業等と協働で中・高校生を対象としたプログラミング教育を実施【再掲】 **新規**

⑦ 県内企業の海外市場への進出や販路拡大の原動力となるグローバル人材を育成・確保するため、学生の留学費用を企業と協働で助成【再掲】 **新規**

⑧ 高校生の県内就職を促進するため、就職希望の全ての高校３年生と高校生の採用を予定している県内企業が一堂に会する「応募前サマー企業ガイダンス」を和歌山市での開催に加え、新たに紀南地方でも開催 **新規**

２. 農林水産業の振興

① 地域農業を牽引する強い経営体を育成するため、農業経営の発展や法人化等への取組を支援 **新規**

② 農作業の省力化や農作物の品質向上のため、ロボットやＩＣＴなど先端機器の導入や研究開発を推進

③ 果樹産地の競争力を強化するため、高品質果実の生産や流通のための施設整備等、生産から流通、販売までの取組を総合的に支援

④ 野生鳥獣による農作物被害を抑制するため、有害鳥獣捕獲対策や狩猟者の育成等を推進するとともに、わかやまジビエの消費拡大のため、「わかやまジビエ認証制度」の普及やジビエフェスタ開催等の取組を実施

⑤ 「森林ゾーニング」により施策の選択と集中を行い、森林管理から生産、流通、加工販売までの各分野における取組を強化

⑥ 収益性の高い水産業を実現するため、漁業者グループによる複合経営や経営統合による複船経営を行う漁業者を支援するとともに、新たな経営モデルの提案や技術習得のための指導者斡旋等の取組を強化 **新規**

３. 観光の振興

① 観光客の更なる誘客のため、神話の時代から近代に至る歴史秘話をテーマにした「100の旅モデル」を旅行者向けにＰＲするとともに、旅行商品造成に向けたプロモーション活動を展開

② 日本遺産「鯨とともに生きる」にまつわる古式捕鯨のシンボル「勢子舟（せこぶね）」の復元や、熊野古道沿いの歴史的価値のある集落跡の発掘など、観光客の長期滞在を図るための新た

な見どころを整備

③ ユネスコ世界ジオパーク認定に向け、「南紀熊野ジオパークセンター」の整備を進めるとともに、ジオサイトを対象とした研究・教育活動を推進

④ 海、山、川の大自然の魅力を満喫できる全長 800km のサイクリング環境を充実し、「WAKAYAMA800」を全国に発信

⑤ 鉄道やバスのスムーズな乗降・乗り換えを実現し、利便性を向上させるため、路線バス事業者の交通系ＩＣカードの導入等を支援 **新規**

⑥ インバウンド受入環境の充実に向けた二次交通の利便性向上のため、路線バス事業者やＪＲなど交通事業者が統一のルールに基づいて設置する案内表示の整備を支援

⑦ 大型クルーズ客船に対応した港湾整備を進めるとともに、県、市町村、関係機関で設立した和歌山県クルーズ振興協議会によるクルーズ客船の寄港増に向けた誘致活動を実施

４. 時代の潮流を踏まえた産業の新しい発展

① 平成 30（2018）年４月に「和歌山県データ利活用推進センター」を開設するとともに、企業との連携によるＡＩを用いたＳＮＳ情報の収集・分析等を行い、県独自の統計分析基盤を構築 **新規**

いのちを守る

地震・津波・風水害などの災害による「犠牲者ゼロ」をめざした防災対策を一層充実するとともに、住み慣れた地域で質の高い医療サービスが受けられ、犯罪や交通事故の少ない環境を整備することで、安心して暮らせる和歌山をめざす。

１. 自然災害への備え

(1)　「災害による犠牲者ゼロ」の実現

① 地震による住宅の倒壊から人命を守るため、市町村等と連携した戸別訪問による耐震化の周知・啓発活動を実施するとともに、耐震診断、補強設計、改修工事に対する助成を実施

② 津波から住民の命を救い、犠牲者をゼロとするため、津波から逃げ切るための河川・海岸堤防等の強化を進めるとともに、具体的な避難経路の設定、避難路・避難施設の整備を支援

③ 集中豪雨や台風による水害の被害軽減を図るため、県内主要河川の整備や国営総合農地防災事業による対策を実施

(2)　発災直後の迅速な救助体制と早期復旧体制の確保

① 救助・救援に資するルートの代替性を確保した道路ネットワークを形成するため、高速道路や県内幹線道路、緊急輸送道路の整備を推進

② 津波発生時や高波浪時に沿岸の状況を把握し、復旧・復興に対する初動対応の迅速化を

図るため、耐震強化岸壁を有する港湾・漁港等にライブカメラを設置 **新規**

③ 地震発生時に必要な水道水を確保するため、揺れを感知して水の流出を防ぐ緊急遮断弁を設置する市町村を支援

④ 次世代を担う世界各国の高校生が参加し、津波の脅威と対策を学ぶ『「世界津波の日」高校生サミット』を津波防災の聖地・和歌山で開催 **新規**

⑤ 学校の防災体制を強化するため、管理職等を対象とした防災に関するリーダー研修を実施し、災害発生前、発生時、発生後の危機管理を徹底 **新規**

⑥ 津波災害からの迅速な復興により地域を持続していくため、「復興計画事前策定の手引き」を活用し、被災後のまちづくりを想定した計画策定に取り組む市町を支援

2. 医療の充実と健康の維持

① 「地域医療構想」に基づき、急性期から回復期への病床機能転換など医療機関の機能分化と連携を推進

② がんの早期発見・早期治療のため、受診勧奨や啓発により、がん検診の受診率向上を促進

③ 県内で不足する産科、小児科、精神科、救急科の医師確保のため、返還免除付き研修資金等の貸付や医師募集のＰＲを実施

④ 「健康長寿日本一わかやま」を実現するため、様々な施策について関係機関の役割を明確にしつつ連携を深めて効果的に実施することで、健康づくりを強力に推進【再掲】 **新規**

⑤ 和歌山県データ利活用推進センターに医療・健康分野に関するデータを蓄積し、新たな知見を見出し施策に反映するための分析・研究等を実施 **新規**

3. 安全な社会の実現

① ＤＮＡ型鑑定の効率化と鑑定数の増加による検挙率の向上をめざし、科学捜査研究所のクリーンルームを拡充整備 **新規**

② 車両情報や防犯カメラ等の客観的証拠の確保を強化するため、車両捜査支援システムや画像鮮明化処理システム等の増強・高度化を実施 **新規**

くらしやすさを高める

良好な生活環境を保つとともに、福祉サービスを充実し、高齢者や障害のある人が自分らしく暮らし、子どもたちが育った環境に左右されることなく成長できる環境を整備することで、快適で楽しく暮らせる和歌山をめざす。

1. 快適な生活環境の実現

① 公共用水域の水質保全を図るため、水質汚濁負荷の高い単独処理浄化槽等から合併処理

浄化槽へ転換する補助制度の対象を配管設備まで拡充 **新規**

② 生活環境の保全と犬猫の殺処分ゼロをめざし、地域猫の不妊去勢手術費用の助成を行うとともに、ボランティアによる譲渡活動等を支援

2. 支え合う福祉の充実

(1) 高齢者福祉の推進

① 今後増加が予測される要介護認定者の安心を確保するため、施設の着実な整備を進めるとともに、自宅での生活を望む人への在宅サービスを充実

② 運動機能が低下し支援が必要となった高齢者が再び自立した生活に戻れるよう「自立支援型ケアマネジメント」を推進

③ 80 歳現役社会を実現するため、社会参加を希望する高齢者と活用したい団体を登録する「わかやま元気シニア生きがいバンク」の活動を強化【再掲】

(2) 困難を抱える家庭等へのきめ細やかな対応と自立支援

① 多子世帯の経済的負担を軽減するため、第３子以降を対象に行っている保育料等の無料化を、一定の所得制限のもと第２子まで拡充【再掲】**新規**

② 多子世帯の保育料等無料化を進めてきたことを踏まえ、在宅で育児を行う世帯に対しても経済的支援を実施【再掲】**新規**

③ 子どもの健やかな成長を促すため、帰宅してもひとりで過ごさざるを得ない子どもたちに食事の提供等を行う民間団体や、公民館等を活用して子どもの居場所づくりを行う市町村を支援【再掲】

(3) 福祉人材の育成・確保

① 保育サービスを支える担い手を確保するため、保育士資格取得のための修学資金の貸付や、求職者と求人事業所のマッチングによる再就職支援を実施

② 介護サービスを支える担い手を確保するため、就職を希望する高校生への介護資格取得支援や、介護福祉士養成施設等へ就学するための資金貸付を実施

地域を創る

人口減少が進む中、住民自らが主体的に考え、行政と一体となった地域づくりを推進し、コンパクトな都市や暮らしやすい中山間地域づくり、交通ネットワークのさらなる充実を進めるとともに、各地域の自然・歴史・文化を固有の魅力として磨き上げるなど、魅力的な地域を創造する和歌山をめざす。

1. 活力と魅力あるまちづくり

(1) 和歌山が誇る豊かな自然の継承

① 「みなべ・田辺の梅システム」の世界農業遺産認定を活用し地域の活性化を図るため、

梅の販売促進や観光振興等に取り組むとともに、国内外への情報発信のため東アジア農業遺産学会を本県で開催 **新規**

② ユネスコ世界ジオパーク認定に向け、「南紀熊野ジオパークセンター」の整備を進めるとともに、ジオサイトを対象とした研究・教育活動を推進【再掲】

(2) 和歌山が誇る文化遺産や景観の保存・保全と活用

① 郷土の歴史研究等に寄与するため、明治初期頃からの写真を収集・整理、デジタル化し、歴史資料として活用するデジタルアーカイブ事業に着手 **新規**

(3) 賑わいのあるコンパクトな都市づくり

① 賑わいのある魅力的な都市づくりを推進するため、市町村による都市計画の策定を支援するとともに、商業、医療、教育、文化などの都市機能を集約し、まちなか居住へと誘導する市街地再開発を支援

② 増加する空き家を有効活用するため、物件に応じて流通、適正管理、除却の３つの側面から空き家対策に取り組む市町村を支援

③ 鉄道やバスのスムーズな乗降・乗り換えを実現し、利便性を向上させるため、路線バス事業者の交通系ＩＣカードの導入等を支援【再掲】 **新規**

④ 歩行者の安全な通行を確保するため、利用状況や周辺環境に応じた整備手法を用いて、通学路など生活道路の歩道整備を加速化

(4) 個性豊かで暮らしやすい中山間地域づくり

① 人口減少の中、日常的な生活サービスを享受できる地域（生活拠点）と、その地域と一体性を保つ周辺の集落で形成する「ふるさと生活圏」の維持・再編を図るための啓発セミナーを開催 **新規**

② 持続可能な地域公共交通ネットワーク形成のため、各地域の実情を把握し、市町村や事業者に対して、路線バスなどの交通手段の運営の在り方について提案 **新規**

③ 「くらし」「しごと」「住まい」の３つの側面から移住者を強力にサポートする「移住・定住大作戦」を継続するとともに、若年の移住希望者が地域において一ヶ月程度、仕事のある暮らしを体験できる体制を整備 **新規**

2. 地域をつなぐネットワーク

① 企業立地や産業振興など将来のチャンスを保障するとともに、大規模災害への備えとして、紀伊半島一周高速道路の実現に向けた近畿自動車道紀勢線を早期に整備

② 府県間道路や直轄国道の整備を推進するとともに、県内主要都市間をつなぐＸ軸・川筋ネットワーク道路をさらに強化するなど幹線道路網を重点的に整備

③ 日常生活の利便性向上に資する都市内道路や生活に不可欠な道路を効果的に整備

④ 本県の実情に応じた「自転車活用推進計画」を策定し、健康増進や環境保全等に有用な自転車の通行空間及び利用環境を整備するとともに安全利用を促進 **新規**

⑤ 南紀白浜空港開港 50 周年や民間事業者のノウハウを活用した空港運営を契機として、県内外からの空港利用をさらに促進 **新規**

Ⅱ 平成 30 年度予算編成方針

長期総合計画に掲げる『世界とつながる 愛着ある元気な和歌山』の実現に向けて、平成 30 年度の新政策を推進するとともに、平成 29 年３月に策定した「中期行財政経営プラン」を着実に実施するため、スクラップアンドビルドや事務事業の見直しを徹底することとし、既存事業については▲５％のシーリングを実施する。

また、投資的経費については、事業効果や緊急性等を精査しつつ、全体としての投資が財政健全化の妨げとならないように努める。

ただし、上記重点政策に沿った事業は、原則としてシーリングを設定しない。

なお、国の予算編成の動向等を踏まえ、予算編成過程において調整等を行うものとする。

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを数多くいただいております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策」、「南紀熊野ジオパークの推進」など御指定いただいた９つの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、郵送や振込みで行うことができますが、クレジットカードで行う場合は、ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」（http://www.furusato-tax.jp/）のサイト上で、簡単に申込みとクレジットカードによる決済を行うことができますので御利用ください。

○寄附金控除のしくみ
（例）

寄附金10,000円の場合		
所得税 約800円	住民税 約7,200円	適用下限額 約2,000円

控除額合計約8,000円

１２月までに御寄附いただきますと、平成２９年の所得税と平成３０年の住民税の寄附金控除を受けることができます。

また、1万円以上の御寄附をいただいた方には、プレミア和歌山の事業者から御協力をお願いした41品目の返礼品の中から１品をお選びいただきお届けしています。

インターネット限定で、２万円以上の御寄附をいただいた方には、41 品目又は特別メニューとして、和歌山特産の熊野牛をお選びいただけますので、和歌山県が誇る優良産品（プレミア和歌山）を是非御堪能ください。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますよう、お願い申し上げます。

全額控除される寄附金額の目安

自己負担額 2,000円を超える金額が全額控除される寄附金額の目安は右表のとおりです。

【注意】
下の表はあくまでも目安としてお考えください。

単身者の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	31,000円
400万円	46,000円
500万円	67,000円
600万円	84,000円
700万円	118,000円
800万円	141,000円
900万円	164,000円
1,000万円	188,000円
1,500万円	394,000円
2,000万円	572,000円

夫婦、子　2人の場合

給与収入	寄附金額目安
300万円	4,000円
400万円	17,000円
500万円	33,000円
600万円	53,000円
700万円	75,000円
800万円	109,000円
900万円	132,000円
1,000万円	157,000円
1,500万円	355,000円
2,000万円	532,000円

お礼の品一覧

１品お選びいただけます！

1	2	3
紀州五代梅 はちみつ梅　550g	**幸いろいろ　幸梅漬･しそかつお梅** 紀州南高梅　各400g	**熊野古道を訪ねて　はちみつ入り味梅** 紀州南高梅はちみつ味(塩分約8%)　500g
紀州五代梅は、紀州産完熟南高梅をひとつ一つ大切に漬け込み熟成させた塩分10%のはちみつ梅干で五代庵を代表する梅干です。	人気の幸梅漬としそかつお梅(南高梅)のセットです。 幸梅漬は、はちみつ入りのうす塩風味で「池本」秘伝の美味しさです。 しそかつお梅は、しそとかつおぶしであっさりとまろやかな仕立てです。	紀州産の南高梅を国産蜂蜜で漬け込みました。梅の酸味と蜂蜜の甘さが絶妙です。
【(株)東農園】	【(株)池本商店】	【(株)いなみの里梅園】

4	5	6
紀州五十五万石木箱 550g　木箱入り	**みなべセット** ふくじゅうめ250g　1個 永遠250g　1個　梅黒酢290ml　1本	**紀州南高梅　夢葵　彩の舞** はちみつ梅(塩分約8%)4個･しそ漬け梅(塩分約14%)4個　昆布包み梅(塩分約8%)4個･桜葉包み梅(塩分約8%)4個
当社独自の製法で、こんぶのお出汁で丹念にまろやかな味わいに仕上げた逸品です。	人気商品のふくじゅうめ250gと蜂蜜で漬け込んだ永遠250gと那智勝浦の黒酢と南高梅で漬け込んだ梅黒酢がセットになった商品です。 ふくじゅうめは塩分約10%、永遠は塩分約8%。梅黒酢は希釈タイプなので、水で薄めて飲んでください。	甘くまろやかな「はちみつ梅」、しその風味豊かな「しそ漬け梅」、こんぶ出汁入り調味液で漬けた梅を更に白板昆布で包んだ「昆布包み梅」、はちみつ梅を桜葉で包んだ香り際立つ「桜葉包み梅」、4つのこだわり梅を詰め合わせました。
【河本食品(株)】	【(株)紀州本庄うめよし】	【(株)紀和農園プロダクツ】

7	8	9
はちみつ仕立て「極」 大粒(4L)の梅干し　12粒	**紀州みなべ南高梅　雪どけ** 調味梅干800g(塩分8%)	**紀州南高梅　不動の梅** 梅干し(うす塩味)　850g
1粒1粒心をこめて包まれた大粒の梅干は、すっぱさを抑えたまろやかな味。 ジューシーな梅の果肉とはちみつの甘さが互いを引き立てます。	環境にやさしい農法に取り組み、完熟南高梅を使用し製造から販売にいたるまで自社で行い、安心･安全な商品作りを行っております。 雪どけは、甘口で食べやすく、お子様からご年配の方まで幅広く愛されており、ギフト商品としても大変喜ばれております。	紀州南高梅の中でも、大粒で特に上質な梅干のみを使用し、当店一番人気の「うす塩」に仕上げました。梅干本来の味わいと程よい甘みで、創業以来、幅広い世代の皆さまにに支持されています。この機会にぜひご賞味ください。
【(株)勝信梅】	【ふたばの梅干】	【(株)不動農園】

お　知　ら　せ

10	11	12
自慢の梅干	うめ・きんかんドリンクセット（まるごと果実入り）	**100%ピュアジュース**
白龍梅（塩分約12%）430g 和み梅（塩分約5%）430g	うめドリンク10本 きんかんドリンク10本	100%ピュアジュース180ml　10本セット みかん4本　きよみ・不知火・はっさく各2本
大切に育てた自家梅園産南高梅を漬込みました。白龍梅は、梅本来の味が生きた上品なうす塩の梅干。ご飯によく合います。和み梅は、蜂蜜をたっぷり使ったかなり甘口の梅干。お茶請けにもピッタリです。どちらもぷっくりと果肉まで柔らかい梅の実です。	ドリンクの中に「うめ」と「きんかん」の果実をそのまま一個入れました。紀州特産の肉厚な梅と紀州名産の丸きんかんジュースのセットです。	和歌山県産無添加ストレートジュース。味が濃く、のどごしスッキリ。4種ともモンドセレクション受賞。世界が認めた味をぜひご賞味ください。
【横山食品（株）】	【アセロラフーズ】	【(株)伊藤農園】

13	14	15
大師の水	濃厚みかんジュース・ゼリー詰め合わせ	Wakayama Ginger Ale　アソートセット
500mlペットボトル　24本	味一しぼり200ml　4本 味一ジュレ150g　3個	生姜丸しぼり　Wakayama Ginger Ale　6本 梅ひと雫　Wakayama Ginger Ale　6本
この「大師の水」は世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として名高い高野山のふもとで汲み上げた綺麗な水です。「大師の水」は軟水（硬度41mg/L）で、日本茶、紅茶、珈琲、ウイスキーの水割りに好相性です。	有田みかんジュースとゼリー（ジュレ）の詰め合わせです。濃厚なみかんだけを搾り、糖度12度以上に仕上げた「味一しぼり」。水を一滴も加えずに作った果汁91%の濃厚みかんゼリー「味一ジュレ」は、ビンのまま凍らせてシャーベットとしても召し上がって頂けます。	和歌山県産の生姜を丸しぼりし、そのシロップと炭酸を合わせた本格派ジンジャーエールです。生姜特有のピリッとした喉越しや、南高梅をブレンドしたまろやかな味を楽しんでいただけます。
【紀州紀文会(有)】	【（株）早和果樹園】	【わかやま農業協同組合】

16	17	18
生姜ちっぷす詰合せ	**天狗力餅**	**紀州銘菓かげろう・柚もなかセット**
生姜ちっぷす50g　6袋	天狗力餅20個入	かげろう20個入・柚もなか18個入
和歌山産の厳選された生姜を使用。「ピリッとした味わい」、「パリッとした食感」が楽しめるチップスです。	表千家の茶会にも使われた銘品「天狗力餅」は、北海道十勝産小豆を使った漉しあんを、求肥餅でつつんでいます。ふ焼き煎餅で挟んでお召し上がりください。	サクッふわの生地と、優しい甘さのクリームが口溶けの良い「かげろう」と、職人による手作りのもなか生地と、手作業で皮を剥いた柚餡が香り高い「柚もなか」の紀州銘菓セットです。
【カフェモコ】	【菓匠　錦花堂】	【(株)福菱】

19	20	21
柚梅（ゆうばい）セット 古城梅10ヶ入・むろの柚10ヶ入 1組セット	**本竹皮包み羊羹セット** 塩羊羹1本　柚子羊羹1本	**一六一八　実　4個入りセット** あらかわの桃×1個　三宝柑×1個 干し柿×1個　温州みかん×1個
紀州特産の梅・柚子を形どった一口羊羹です。古城梅には天然しそ・梅肉、むろの柚子には天然ゆずを入れています。文左の郷土菓子は種々の材料が良く調和を保ちながらかもし出すほのぼのとした、手作りならではの味です。	紅葉屋本舗の羊羹は「美味しい」「安全」「安心」「自然」を貫き、添加物は一切使用せず厳選された素材だけを使用し、一本一本職人の手で真心込めて丁寧にお作りいたしております。外はパリッと中身はしっかりの昔ながらの羊羹2本セットです。柚羊羹はモンドセレクション金賞受賞。	濃厚で香りの高いあらかわの桃をはじめとした、和歌山産の厳選された果実をしっかりと味を感じて頂けるように仕上げた4種類のアイスです。ぜひ、ご自分へのご褒美にいかがでしょうか。
【文左】	【紅葉屋本舗】	【（株）カワ】

22	23	24
くろさわ牧場のアイスクリーム　ミルク アイスクリーム　ミルク　90ml　8個	**まるごと田村みかんゼリーセット** まるごと田村みかんゼリー94g　12個	**フルーツコンポートセット** コンポート丸ごと温州みかん350g×1 コンポート房ごとはっさく350g×1 わかやまポンチ140g×2
ミルク感あふれる、牧場アイスクリーム。「黒沢牧場のアイスクリーム」のおいしさの秘密は、放牧されている牛の搾りたて牛乳を100%使っていること。牧場にしかできないフレッシュなミルク感を味わってください。	和歌山県有田地域のブランドみかん「田村みかん」を使ったゼリーです。やわらかな弾力の果肉はジューシーで、豊かな甘みが特徴です。	和歌山県産の梅甘露煮、温州みかん、八朔、若桃を上品な甘さのジュレで包み込んだ「コンポート」です。フルーツの自然な甘みと味わいをお楽しみください。日本ギフト大賞和歌山賞受賞。
【農事組合法人　黒沢牧場】	【（株）小南農園】	【（株）ふみこ農園】

25	26	27
灰干しさんま 灰干しさんま　3L　8尾	**紀州名産なんば焼** 紀州名産なんば焼300g　3枚 化粧箱入り	**銀鱗の輝　釜揚げしらす・ちりめん山椒** 釜揚げしらす130g×2 ちりめん山椒120g×2　化粧箱入り
脂の乗った鮮度の良い魚だけを使用し、紀州伝統の灰干製法で魚の素材を生かし、空気に触れず酸化を抑え旨みを引き出します。無添加で新鮮乾燥の干物です。無添加で安全な商品は、お子様からお年寄りまで食べて頂けます。	紀州地方で江戸時代から南蛮国より伝わる焼き蒲鉾です。近海で獲れた魚を主原料に、「すり身」にして昔ながらの製法で丹念に焼き上げており、魚の素材を生かしたまろやかな味が格別です。	新鮮で良質なしらすを新鮮なまま、高温の厚釜で躍らせるように釜ゆでした「釜揚げしらす」。「ちりめん山椒」は、有田川町清水産のぶどう山椒と湯浅の香り高い豊かな醤油を使用。丹精込めて丁寧に炊き上げ、甘さを控えた上品な一品に仕上げました。
【（有）西出水産】	【西山蒲鉾店】	【まるとも海産】

お　知　ら　せ

28	29	30
海桜鮪もちビンチョウと海の生ハムセット	**鯨大和煮セット**	**紀州勝浦まぐろCAN(マグロ経済学シリーズ)**
もちビンチョウ鮪　100g×1パック 海の生ハム　50g×3パック	鯨大和煮200g　3個	まぐろ水煮90g　3缶 まぐろオイル漬け　90g　2缶 まぐろオイル漬け　180g　3缶
100本に数本しか出現しない「もちビンチョウ」。モチモチとした身質のものを「目利き」の技術で選別し、簡単・手間なし・失敗なしの「海桜鮪」の技術で冷凍いたしました。国際線ファーストクラス機内食にも採用されている「海の生ハム」とともにお届けします。	太地港で水揚げされた近海産の鯨を使用し、甘辛く昔なつかしい味わいに仕上げました。	まぐろの町、那智勝浦発！！紀州勝浦産生まぐろ(ビンナガマグロ)を使用し、新鮮なままで身をさばいて缶詰にすることで独自の食感と味わいのある缶詰が出来ました。
【(株)ヤマサ脇口水産】	【(有)カネヨシ由谷水産】	【和歌山県漁業協同組合連合会　勝浦市場】

31	32	33
鯖棒寿司	**すさみイノブタ「イブ美豚」 ウインナー・ハムセット**	**和歌山　丸高中華そば**
鯖棒寿司　1本	あらびき110g×1　チョリソー110g×1 ホワイト110g×1　モモハム150g×1 ジャーキー30g×1	丸高中華そば3食入　2セット 4食入　1セット
その日の気温・鯖の状態によって塩と酢の配合を変えて丁寧に締めた脂がのった鯖と、30数年間に渡る当社独自の秘伝のタレで炊き上げた肉厚昆布、コシヒカリ最高級ランクのシャリが一対となり絶妙な味わいを醸し出しています。昆布は外さず一緒にお召し上がりください。	和歌山県すさみ町にある自社農場で生産したクセのない甘みのあるイノブタ「イブ美豚」を自社工房で職人がハム・ウインナーに加工しました。	昭和15年、先代が和歌山市高松で始めた屋台店が発祥。コクがあるのに、さっぱりとした味に仕上げました。
【(株)笹一】	【(株)イブファーム】	【(有)柏木製麺所】

34	35	36
紀州うめたまご	**金山寺味噌**	**昔造り紀州金山寺味噌**
紀州うめたまご　18玉入り	金山寺味噌 330g折入り　2個 450gタル入り　1個	昔造り紀州金山寺味噌600g　2個
日経ウーマンライフ全国卵かけ御飯コンテストで優勝！紀州梅酢で健康的に育った鶏が産んだ紀州うめたまご。生でこそ、その違いを味わって頂きたい！和歌山県が誇る高級ブランド卵です。	和歌山県に古くから伝承されてきた、米、はだか麦、大豆、白瓜、茄子、生姜、しそを混合した、野菜たっぷりな「そのまま食べるお味噌」です。	純国産の精選した米、大麦、大豆を赤穂のにがり塩で仕込み、明治39年の創業以来変わらぬ製法でうり・なす・生姜・しそとともに半年間熟成しました。
【(有)中田鶏肉店】	【川善味噌(株)】	【(株)やまだ】

37	38	39
湯浅醤油詰合せ 濁り醤 720ml 1本 湯浅たまり900ml 1本	**熊野黒潮本舗　塩セット** 黒塩・梅塩・ゆず塩　各2個ずつ 炭塩　1個	**世界一統大吟醸 「熊楠」** 大吟醸清酒「熊楠」720ml
歴史的な背景を忠実に再現した本醸造生醤油濁り醤720mlと松材の薪で火入れした手づくり醤油900mlとの正真正銘手づくり湯浅醤油2本セット詰合せです。	南紀熊野灘の海水を汲み上げ、釜で煮詰めて天日干しで仕上げた本格的な手づくり塩です。色々な味をご賞味下さい。	和歌山で生まれた、世界の知の巨人南方熊楠由来の蔵が醸した大吟醸酒です。
【(株)角長】	【熊野黒潮本舗】	【(株)世界一統】
40	41	
純米吟醸「紀伊国屋文左衛門」 純米吟醸「紀伊国屋文左衛門1.8L 化粧箱入り	**有田みかんスパークリングワインセット** みかんシュワッ酒330ml　6本	
「山田錦」と「雄町」を丹念に醸し、穏やかな吟醸香と、やわらかにふくらむ米の旨味、キレのある飲み口が特徴です。	みかんの本格スパークリングワインです。有田で育った美味しいみかんを原料に酵母菌で大切に育てたワインをベースにスパークリングに仕上げました。アルコール度数も6%と飲みやすく、ポンッと開けてそのままお飲み頂ける可愛い小瓶も魅力です。	
【中野BC(株)】	【花野食品】	

－・－

★お問い合わせ・申込窓口★
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目１番地
総務部総務管理局税務課
担当　西岡、嶋村、岡田
電話 073-441-2186(直通)
FAX　073-423-1192
E-mail：furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

☆お問い合わせ窓口☆
〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館12階
和歌山県東京事務所
担当　宮脇
電話 03-5212-9057
FAX　03-5212-9059

イベント情報(１１月中旬～１２月下旬)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
11 月中旬	田辺・弁慶映画祭	田辺市・紀南文化会館	田辺市観光振興課 0739-26-9929
11 月中旬	いせえび祭り	那智勝浦町・ 勝浦漁業協同組合	那智勝浦町観光産業課 0735-52-0555
11 月中旬	熊野那智大社「紅葉祭」	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
11 月下旬	獅子舞 奉納	田辺市・万呂須佐神社	田辺観光協会 0739-26-9929
		上富田町・八上神社	上富田町観光協会 0739-47-0550
11 月下旬	紀州根来寺かくばん祭り	岩出市・根来寺	岩出市観光協会 0736-62-7101
11 月下旬	新嘗祭	和歌山市・水門吹上神社	水門吹上神社 073-422-7007
		那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
12 月上旬	白良浜ｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝｲﾍﾞﾝﾄ 「白砂のプロムナード」	白浜町・白良浜海水浴場	白浜観光協会 0739-43-5511
12 月上旬	仙人風呂開湯式	田辺市・川湯温泉	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
12 月上旬	ねんねこ祭り	串本町・木葉神社	古座観光協会 0735-72-0645
12 月中旬	サンタが大水槽にやってくる	海南市・県立自然博物館	県立自然博物館 073-483-1777
12 月中旬	クジラの巨大模型「すす払い」	太地町・くじらの博物館	くじらの博物館 0735-59-2400
12 月中旬	しまい観音 厄除開運大根炊き	和歌山市・紀三井寺	紀三井寺 073-444-1002
12 月下旬	時鐘堂の鐘つき	和歌山市・岡山	和歌山市観光協会 073-433-8118
12 月下旬	大松明押し	かつらぎ町・下花園神社	かつらぎ町花園支所 0736-26-0321
12 月下旬	カウントダウン花火大会	白浜町・白良浜海水浴場	白浜町商工会 0739-42-4686

自然・風物情報(１１月中旬～１２月下旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
11 月中旬	串柿づくり最盛期	かつらぎ町・四郷地区	かつらぎ町観光協会 0736-22-0300
11 月中旬	白良浜 防砂ネットで冬支度	白浜町・白良浜海水浴場	白浜観光協会 0739-43-5511
11 月中旬	布引だいこん出荷最盛期	和歌山市布引	海草振興局農業水産振興課　073-441-3380
11 月下旬	福定の大銀杏色づく	田辺市・中辺路町	中辺路観光協会 0739-64-1470
11 月下旬	子授け大銀杏色づく	古座川町・光泉寺	古座川町産業建設課 0735-72-0180
11 月下旬	紅葉見ごろ　県内各所	和歌山市・紅葉渓庭園	和歌山市城整備企画課 073-435-1044
		田辺市・奇絶峡	田辺観光協会 0739-26-9929
		新宮市・瀞峡	熊野交通株式会社 0735-22-6220
12 月上旬	センリョウの収穫	印南町・真妻地区	ＪＡ紀州営農企画課 0739-72-3956
12 月上旬	熊野本宮大社で 大しめ縄張り替え	田辺市・熊野本宮大社	熊野本宮大社 0735-42-0009
12 月上旬	ウツボ天日干し	串本町大島漁協	和歌山東漁協 0735-62-0080
12 月中旬	葉ボタン出荷	紀の川市・名手市場	ＪＡ紀の里東部流通センター　0736-75-2564
12 月下旬	和歌山城天守閣の しめ縄飾り	和歌山市・和歌山城	和歌山城整備企画課 073-435-1044
12 月下旬	那智の滝で 大しめ縄張り替え	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
12 月下旬	人気者クマのベニー冬眠	和歌山市・和歌山公園	和歌山城整備企画課 073-435-1044

高さ１３３メートルの那智の滝の上で、長さ２６メートルの大しめ縄が、神職の手により、約３０分かけて張り替えられます。

～編集後記～

先月、本県を襲った台風２１号は、死者１名をはじめとする人的被害や住家被害、道路、砂防、河川への被害、鉄道等交通への被害、世界遺産、文化財など観光資源への被害、県内企業、農林水産業への被害など、大きな被害をもたらしました。
改めまして、亡くなられた方のご冥福を心からお祈り申し上げ、御家族や被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

今回の台風は、県内に災害救助法が適用されるほど大きな被害をもたらしましたが、県では早急に復旧作業を進めておりますので、皆さん、また、和歌山に笑顔と元気を届けにお越しくださいますようお願いします。

話は変わりまして、今月号でも様々な生涯スポーツへの取組をお知らせしているところですが、県を挙げて進める生涯スポーツイベントの一つである「ねんりんピック紀の国わかやま２０１９」が平成３１年の１１月９日から開催されることにちなんで、開催２年前の節目を迎える１１月９日に、カウントダウンボートの点灯式を行いました。
「７３０」の文字が点灯し、ここから一日一日、カウントダウンが始まります。数字が減っていくにつれて緊張感が増していきますが、県庁一丸となって開催準備を進めてまいります。

１１月に入ると、年賀状に関するテレビＣＭが流れ、近くの商店にも色々なデザインのハガキが店頭に並び始めます。
来年は、戌年ということで、現在、『郵便年賀．ｊｐ』で、和歌山だよりに毎月登場している和歌山県ＰＲキャラクター「きいちゃん」の年賀状デザインを配信しています。年賀状にぴったりな「羽根つき」と「たこ揚げ」のデザインとなっております。
無料でダウンロードできますので、是非、「きいちゃん」をより身近に感じていただければと思います。（「年賀状　クイックリサーチ　郵便年賀」を検索していただき、「干支デザイン」を選び、「パーツ素材」一覧内にある「きいちゃん」デザインを選択いただけます。）

立冬も過ぎいよいよ寒さが増してまいります。みなさん、お風邪など召されませんようにお気を付けください。

知事室秘書課長　南木　芳亮

★「和歌山だより」Ｗｅｂ版を和歌山県ホームページにアップしています。Ｗｅｂ版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので是非御覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。
（下記のＦＡＸ（様式自由）、E-Mail 等でお願いします。）

■FAX 073-422-4032
■E-mail　e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ　http://www.pref.wakayama.lg.jp/

ふるさと和歌山応援ｻｲﾄ　http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/

2017 年（平成 29 年）11 月　Ｎｏ．１１５

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。

和歌山県　秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通１－１
TEL 073-441-2022